

【話者】

その日、福島に住むミドリ君は、
お父さんのパソコンを借りて、
福島から引っ越したルリちゃんに、
はじめてインターネットでテレビ電話をかけました。
こういふこと、ミドリ君ははじめて。
ちょっとドキドキしています。

トウルルルルル トルルルル

つながりました！

パソコン画面にルリちゃんがいます。

45



【ミドリ】 こんにちは。福島で同じクラスだった

古里ミドリだよ。

聞こえる？ 見えてる？

【話者】 ルリちゃんも、恥ずかしそうに答えます。

【ルリ】 うん。ルリの声は聞こえる？

【ミドリ】 聞こえるし、見えてるよ。へへへ。
引越しはどう？

【ルリ】 だいぶ、慣れたよ。ミドリ君は？
元気してる？



【ミドリ】 うん。もう元気いっぱい！

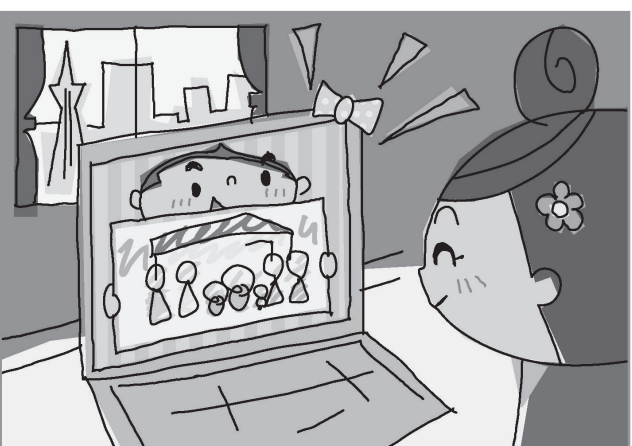
あ、この前、家の前で撮った家族写真があるから、
見せて。

【話者】 と、パソコンのカメラに

家族写真を向けるミドリ君。

【ルリ】 わあ、懐かしい。ミドリ君ちだ。

【ミドリ】 ミドリ君は、ルリちゃんの喜ぶ顔を見て
ちょっとうれしくなりました。



【ミドリ】 そう。うちの家族。

おジイちゃんおバアちゃん、

それに、妹のモモ！

それから、お父さんとお母さんも

みんな元気、元気！

あ、忘れちゃいけないのが、ボクの親友、

アカベコみたいな犬のアオ。覚えてる？

【話者】

とても懐かしそうになづくルリちゃん。

でも、ちょっと寂しそうな顔になったので、

ミドリ君は話を変えてみました。



【ミドリ】 それよりさ。

ひっこしなきともだち
引越先の友達に、

ほうしゃのう
「放射能って怖いんでしょ？」って

い
言われたんだって？

【ルリ】

さいしょ
最初、そんなふうに、言われた。

【ミドリ】

きつと、みんな『放射線』や『放射能』について

よく知らないからそんなこと言うんじゃないかな？

ほうしゃせん
『放射線』について正しく知らなくちゃいけないんだよ！

それでね。ボク、いっぱい調べることにしたんだ。

「それってナニ？ なんだ？」って思ったことをね。

あたらし
ルリちゃんの新しい友達にもわかってもらえると

いいな。



【ルリ】 そうだね。ありがとう。

【ミドリ】 うん。

でもさあ、放射線ほうしやせんって、

調べてたら、いっぱい「なんでだ？」と思おもうことが、
出てきたんだあ。

例えば…

なんで事故じこのあと、

長い間ながあいだ、外そとで遊あそべなかったのかなあ…とかあ、

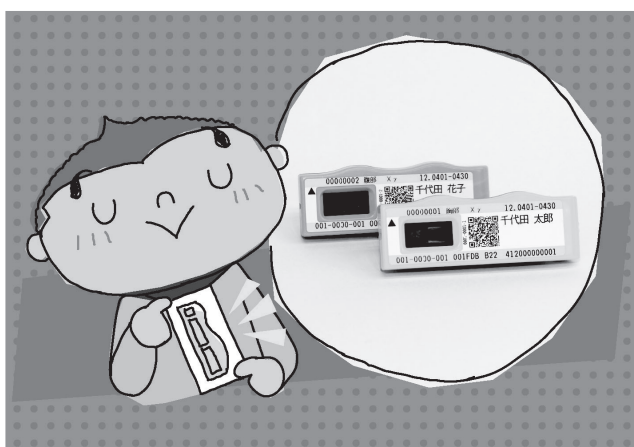


【ミドリ】 学校で配られた、

ガラスバッジって何を

測るものだったんだらう？ とかあ…。

【ルリ】 あ、それ知らない。



【ミドリ】 まだあるよ。

なんで、食^たべ物^{もの}にも気^きをつけなきゃ
いけないだろう？ とか、

38



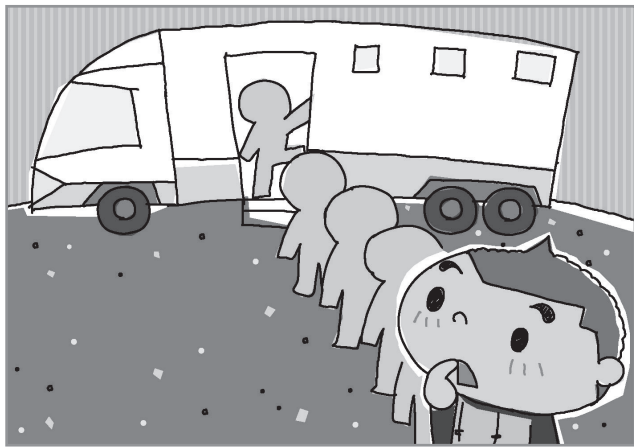
【ミドリ】

いろんな検査を今もするところあるけど

あれは何だろう？

とかさあ…

37



【ミドリ】 それに、なんか 難しい言葉も
いっぱいだよ。

【ルリ】 私も調べてみようかな？

【話者】 その言葉を待っていたミドリ君。

【ミドリ】 あ、いいね！一緒に調べて、
調べたことを教えあおうよ。

【ルリ】 うん！

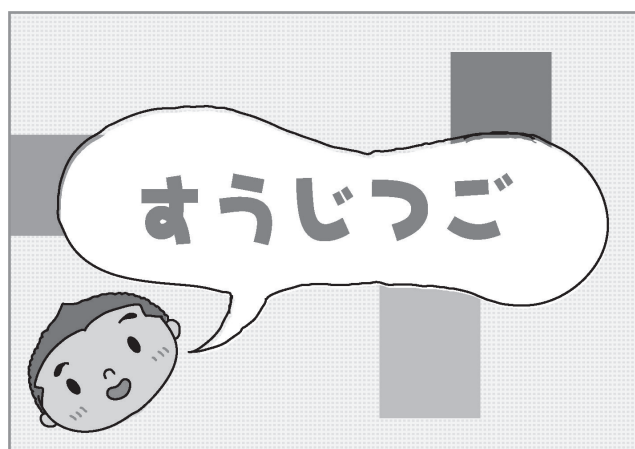
【話者】 こうして、ミドリ君とルリちゃんは、
お互いに、『放射線』ってなんだ？を
調べて教えあうことにしたのです。



【話者】

数日後…
すうじつご

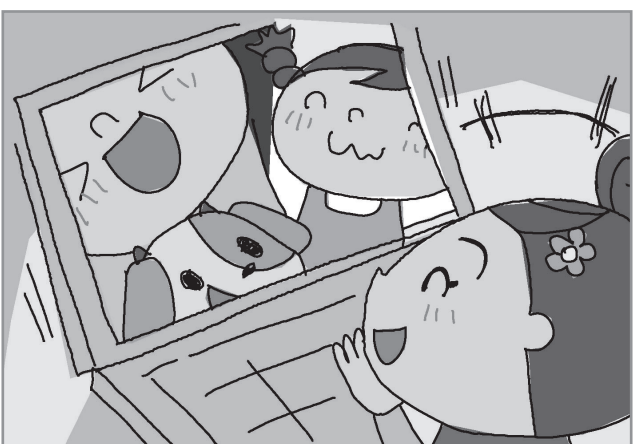
35



【話者】

この日も、ミドリ君とルリちゃんは、
インターネットのテレビ電話で、『放射線』について、
調べたことを話していました。

34



【話者】 まずはルリちゃんが調べたことを話し始めました。

【ルリ】 私、「なんでこんな事になっちゃたんだろう」って
まずは、そこから考えてみたの。

【ミドリ】 うん。

【ルリ】 覚えてるよね？
3月11日に起こった大きな地震。

【話者】 ミドリ君は、あの時のことを思い出して…

【ミドリ】 すごい、怖かった。

【ルリ】 私も。
それから、「原発で起こった事故」。

33



副読本

P.07 「原発」ってなに？

P.08 「原発じこ」ってなに？

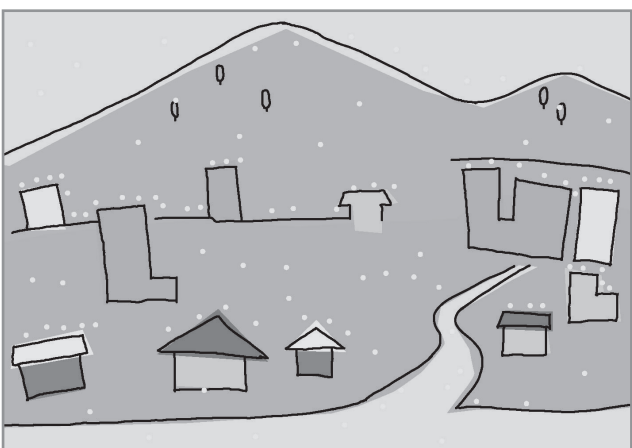
【ルリ】

その事故で、目に見えない『放射性物質』が
いろんなところに、飛んで行ったんだって。

福島には、その『放射性物質』が、

他のところよりも多く降ったから、

32



【ルリ】 私のパパや、ママ、それから友達も

みんな困っちゃった。^②

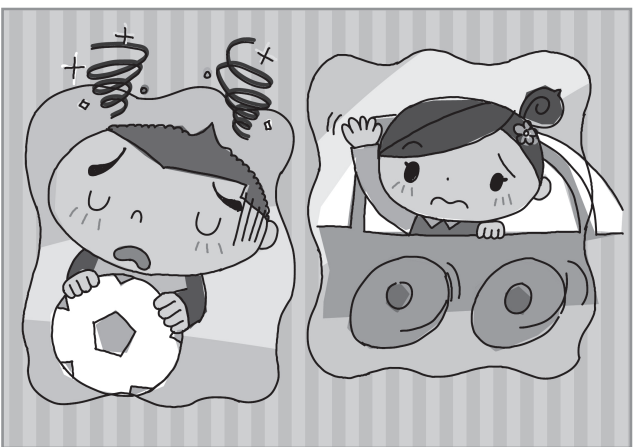
【話者】 怖かったこと、そして、外で遊ぶなくなったことを

思い出したミドリ君。

【ミドリ】 僕も、大好きなサッカーが出来なくなったし。

【ルリ】 うん。そうだよね。^③

31



👉 副読本2

P.09 それでどうなったの？

P.10 ふってきたホウシャセイブツシツは今、どうなってるの？

👉 副読本3

P.11 福島にはどのように広がったの？

【話者】

なんで、原発から『放射性物質』が
出たんだろう？

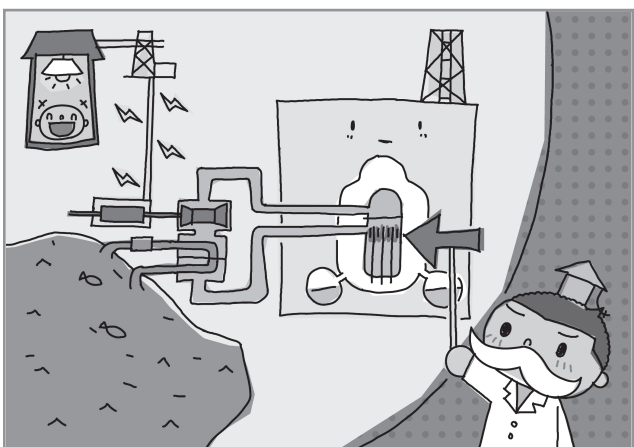
【ルリ】

パパに聞いたんだけど、
原発では、みんなが毎日使っている
電気を作っていたの。
原発では、電気を作るのに、『放射性物質』が
必要なだって。
仕組みは、よくわかんないけど…。

【ミドリ】

それ、今度僕が調べてみるよ。

30



P.13 豆ちしきコーナー

原発が「電気」をつくるってどういうこと？

【ルリ】 やっぱり、なんか『放射線』って怖いかも。

【話者】 ちょっとだけ考えて、ミドリ君は
言いました。

【ミドリ】 うん。でもさ、『放射線』って、
よくわからないから、怖いのかなって、
思った。

29



【ミドリ】 だから、もっともっと僕も調べてみたよ。

【ルリ】 すごい。名探偵みたい。

【ミドリ】 へへへ。手伝いは妹のモモと

犬いぬのアオなんだ。



【話者】 早速、調べたことを書いたノートを取り出すミドリ君。

【ミドリ】 まず、『放射線』や『放射能』って、一体何だろう？ってことから調べてみたんだ。

【ルリ】 うん。

【ミドリ】 『放射線』っていうのは、『放射性物質』っていう粒から出る、目に見えない光のようなものことなんだって。

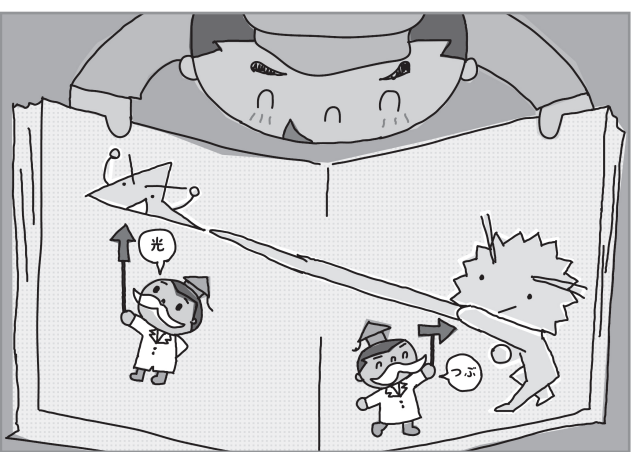
【ルリ】 へえ、そうなんだ。

【ミドリ】 そして『放射能』っていうのがさ『放射性物質』から『放射線』を出す能力のことを言っているらしいんだよね。

【ルリ】 そうなの？ ちょっと複雑ね。

【ミドリ】 そうなんだよ。だから、『放射線』の『放射能』ってまちがいで、『放射線』のこと。この『放射線』には、不思議な能力があるんだよ。

27



副読本

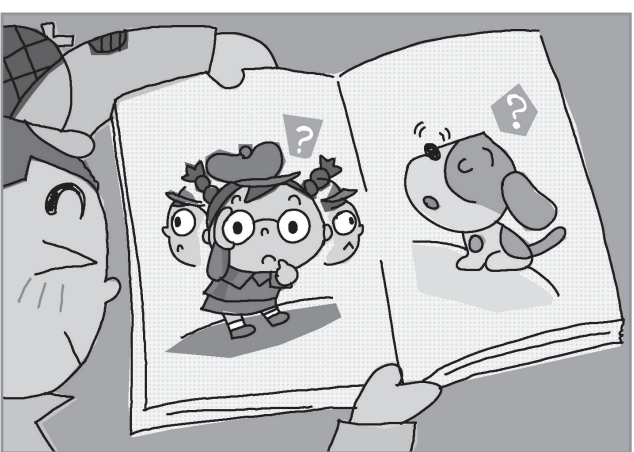
P.17 「ホウシャノウ」「ホウシャセイブツシツ」
「ホウシャ線」ってなに？

【ルリ】 ゼンゼンいいよ。

【ミドリ】 うん。『放射線』ほうしやせん って言いうのはち、

まず、においもしないし、目めにも見みえない。

これが、一ひとつ目めに不思議ふしぎなこと。



【ルリ】 不思議なことって、全部でいくつあるの？

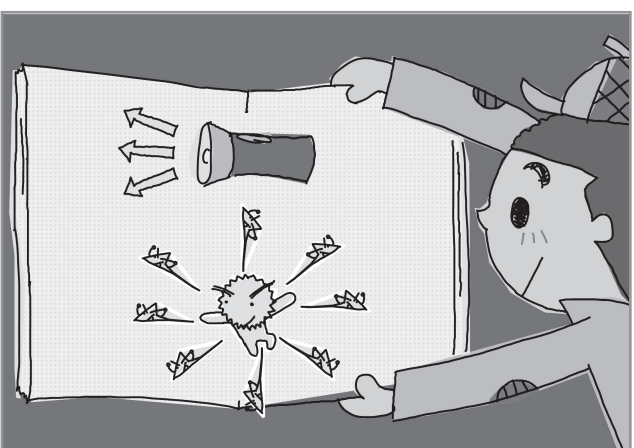
【ミドリ】 三つだよ。

次、二つ目ね。

二つ目は、光のようなもので、

モノを通り抜けたりもするんだって。

25



【ミッドミ】 みつめ

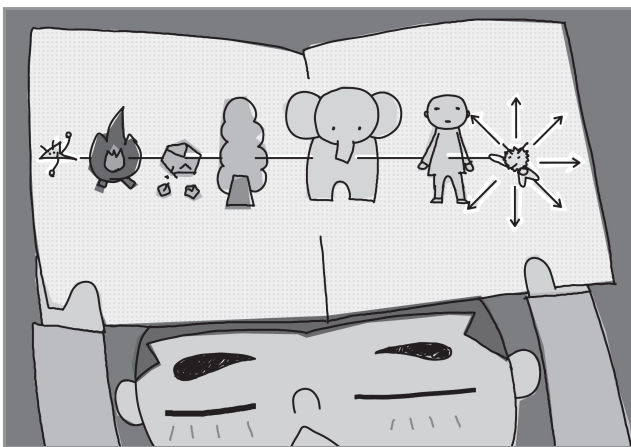
からだとおぬ
体を通り抜けたとしても、
なにかん
何も感じないらしいんだ。^⑥

【ルリ】 そうじゃなく平気じゃん！って、
なーんだ、ならぜんぜん平気じゃん！って、
おも
思ったんだけどさ。

【ルリ】 そうじゃないのね？

【ミッドミ】 うん。

24



副読本⑥

P.21 ホウシャ線には、どんなせいしつがあるの？

【ミドリ】 『放射線』 はたくさん浴びると、

体によくない場合があるらしいんだ。

通り抜ける時に、体の中で、

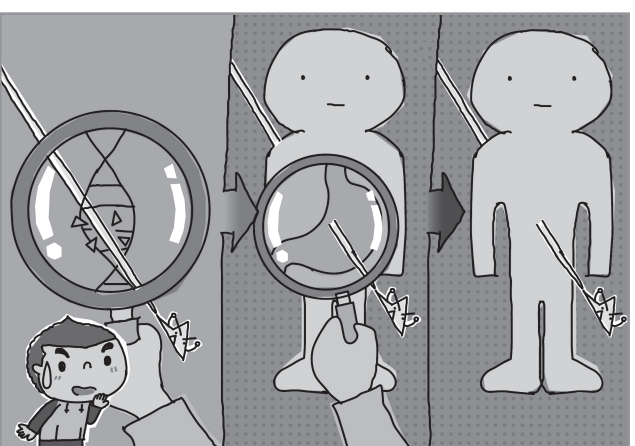
悪さをすることがあるんだって。

【ルリ】 あ、そういうことだったんだ！

【話者】 『放射線』 のことが、

やっとわかったという顔のルリちゃん。

ミドリ君が説明を続けます。



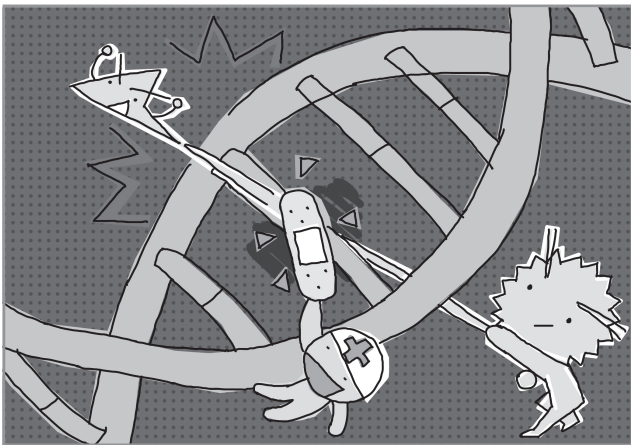
【ミドリ】

人間の体には、自分で治す力があるから
悪さは少しならいいんだけど...

【ルリ】

それでも、やっぱり『放射線』には
気を付けなきゃね。⁷

22



👉 副読本7

P.25 ホウシャ線をあびるとどうなるの？

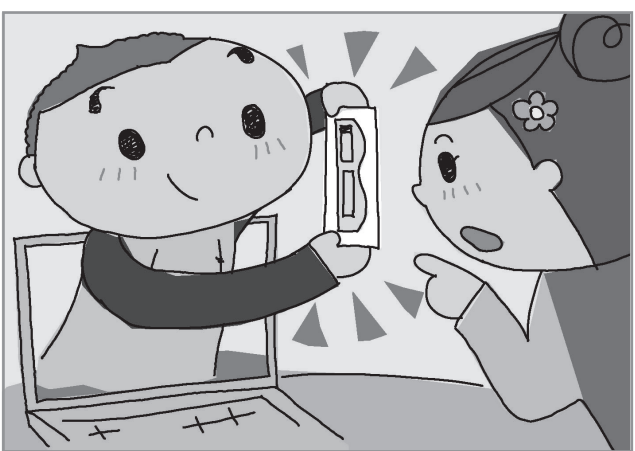
【ミドリ】 お父さんとうきに聞いたきんだけど、
だから、この『ガラスバッジ』[®]が配くばられたたんだけって。

【話者】 と、自分じぶんのガラスバッジ[®]を出だす、ミドリ君くん。

【ルリ】 ガラスバッジ[®]ってなーに？

【ミドリ】 ルリちゃんちゃんが、引ひ越こしてから配くばられたものだよ。
このバッジは、だいたい1かげつカ月とか3かげつカ月とかの間に、
ぼくたちが、どれぐらいの『放射線』^{ほうしゃせん}を浴あびたか
調しらべるものなんだって。

【ルリ】 そうなんだ。
まだまだ、知しらないこと
いっぱいあるなあ。



【話者】 まだ不思議ふしぎなことがあるというミドリ君くん。

【ミドリ】 実は、『放射線』ほうしやせんって、原発事故げんぱつじこの前まえから僕ぼくたちのまわりにもあるんだって。

【ルリ】 えー！ びっくりするよっ。

【ミドリ】 地面じめんからも出でているみたいだし
それに、「宇宙」うちゅうでも
『放射線』ほうしやせんが飛とんでいて、
地球ちきゅうにも届とどいてるんだって。



【ミドリ】 病院で、体を検査する時、『放射線』を使っているんだって。

レントゲンって言うんだけど知ってる？

【ルリ】 ええっ？ 病院でも『放射線』を使っているの？

【ミドリ】 そうなんだ。

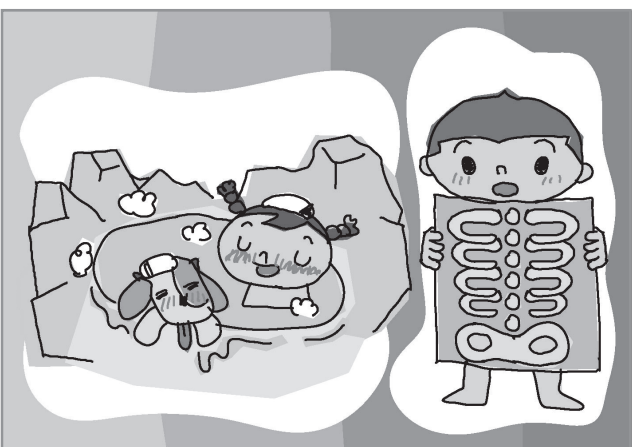
それに、『放射線』はそこらじゅうにあるらしいんだ。⁹

旅行でいく「温泉」にも『放射線』が出ているところがあるんだって。⁸

【ルリ】 へえ・・・そうだったんだ。

『放射線』って、不思議。

【話者】 この日二人は、『放射線』の不思議をいっぱい話し合いました…。



👉 副読本 8

P.23 自然界の中にあるホウシャ線って
どんなものがあるの？

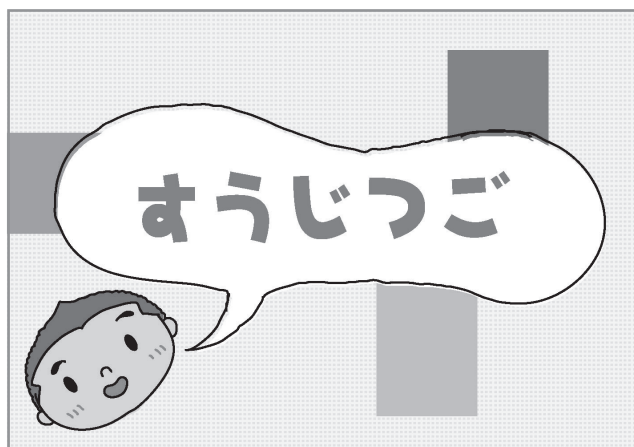
👉 副読本 9

P.24 豆ちしきコーナー
病院でも「ホウシャ線」が使われているよ。

【話者】

数日後…
すうじつご

18



【話者】

この日も、またミドリ君とルリちゃんは、

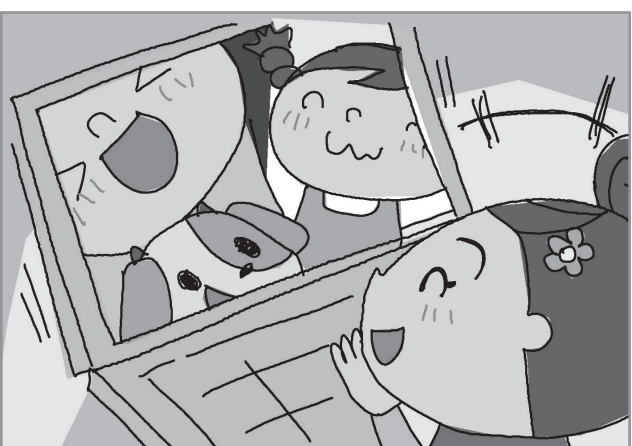
『放射線』について、調べたことを

インターネットのテレビ電話で話しました。

今日は、ミドリ君たちのような、子どもたちが

何に気をつければいいのかを、

調べてきたようです…。



【ミドリ】 なんて長い間、外で遊ぶなかつたかは、
ちよつとわかつたよね。

【ルリ】 うん、『放射線』を
いっぱい浴びないようにしていたのね。

【ミドリ】 うん。

これからも、外で遊ぶときに、
『放射線』をできるだけ
浴びないようにするには
どうすればいいのかな？

【ルリ】 あ、それ私もちよつと調べたわ。
『外部被ばく』っていうのよね。



【三】 うん。

外そとで遊ぶあそぶとき、一番いちばん大切たいせつなのは、

『放射線量ほうしやせんりょう』がたか高い場所ばしょには

なるべくちか近づちかづかないこと！

これなんだ。

【ルリ】 へー、もっとおし教えて！

15



【話者】

ミドリ君は、あの事故のすぐあとの話を始めました。

【ミドリ】

原発事故の後、『放射性物質』は、雨と一緒に屋根をつたって、雨どいに流れていったんだって。だから、そのあたりには、溜まっていることが多いらしいんだ。

他にも、木の下とかは気をつけた方がいいみたい。お父さん、お母さんは、そういうところには近づくなつて。だから、僕、気を付けてるよ。

【ルリ】

そうか、『放射性物質』が溜まっっていて、まわりよりも『放射線量』が、とても高いところのことをホットスポットって呼ぶのね。

14



副読本

P.31 ホウシャ線量が高い場所を知ろう。

【話者】 ミドリ君は力強くうなずいて言いました。

【ミドリ】 そうなんだ。

毎日の通学路でもさ、道路わきの溝とかに土や泥が溜まっているときがあるでしょ。

そういう所にはなるべく近づかない。

【話者】 続けて、ルリちゃんがもうひとつ大事な事を言いました。

【ルリ】 どうしても、近づかなければいけない時には、

長い時間、そこにいないこと！

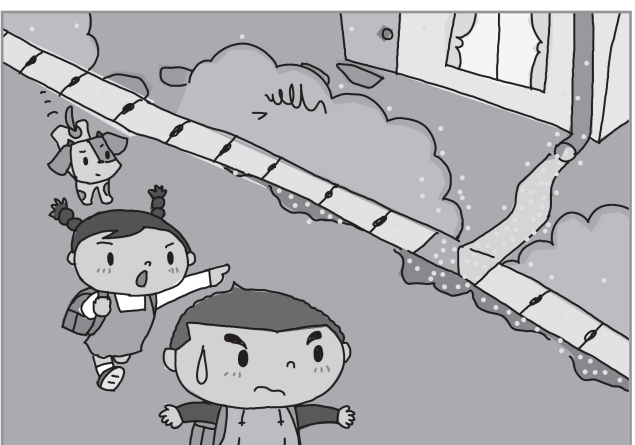
【ミドリ】 その通り！

【ルリ】 他にも どういうところか、

ホットスポットなのか、今度調べて
みましょうよ。

【ミドリ】 そうだね。

13



【話者】 ミドリ君は、次に調べたことを話しはじめました。

【ミドリ】 次は、家で気をつけること！

【ルリ】 ええっ？

家で、『放射線』を浴びてしまうこともあるの？

【ミドリ】 うん。正確には、体の中に

『放射性物質』が入ってしまうこと。

【ルリ】 あ、わかった！

『内部被ばく』って言われているものね。

テレビで聞いたことがある。

【ミドリ】 そっ！

食べ物に気を付ける！って
いうことなんだ。



【話者】

ミドリ君はわかりやすくイラストを描きながら、ルリちゃんに説明します。

【ミドリ】

原発事故の起こったすぐあとは、畑の野菜や牛が食べる牧草とかにも、『放射性物質』がついてしまっていたんだ。

『放射性物質』がついたり、入っているものを食べるとぼくたちの体に『放射性物質』が入ってしまうんだって。

【ルリ】

えっ？ じゃあ、私たちは何を食べたらいいの？

【ミドリ】

ルリちゃん。大丈夫だよ。いま、お店で売っているものは、キッチンと『放射性物質』の検査がされているから安全なんだよ。

【ルリ】

よかった。あ、でもお店で売っていないもの・・・例えば、この前みつけた森に生えてたキノコは？

【ミドリ】

うん。だから食べていいか、おとなき大人に聞かなくちゃいけないんだ。ぼくがこの前、海で釣った魚も食べていいか、ちゃんと聞いたよ。市や町で、自分たちでとったものが安全か検査してくれるところもあるんだって。

11



12

副読本12

P.37 内部ひばくをふせぐには？

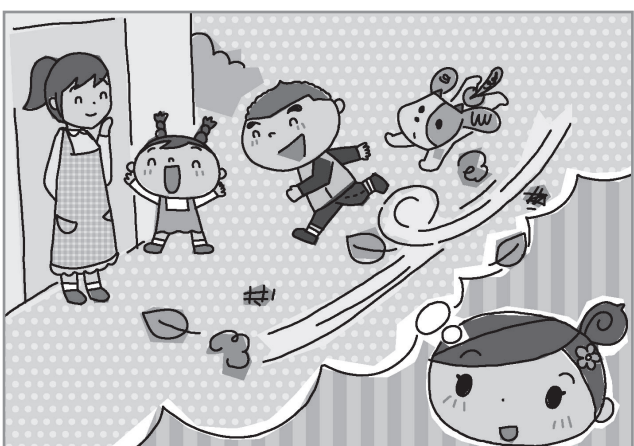
【ミドリ】 他にも家で、気をつけることがあるんだ。

【ルリ】 なあに？

【ミドリ】 外から帰ってきたらすること。何だと思っ？

【話者】 ルリちゃんは、想像してみました。

10



【ルリ】 んー。手を洗うとか？

【ミドリ】 正解！

外から帰ったときは、手洗い、うがいなどを
きちんとすることがいいんだって！

【ミドリ】

【ルリ】

えー、それってまだ空気の中に原発事故で出た
『放射性物質』があるってこと？

ううん。今は、少なくなっているから、

【ミドリ】

あまり心配しなくていいみたい。
ただ、乾燥した日が続くと、ホットスポットに溜まった
土埃が、風に吹き飛ばされて広がってしまうことがあるんだ。

そういう日は、体についた埃を

できるだけ早く落とす方がいいんだって。⑬

副読本13

P.36 内部ひばくを防ぐには？

09



【話者】 ミドリ君はさらに続けます。

【ミドリ】 遊ぶ時や出かける時も気をつけることがあるんだ。

08



【ミドリ】

風かぜが強つよくて、土埃ちちほこりが多いおほときには、
口くちの中なかに入はいらないようにマスクをしたほうがいいんだよ。

07

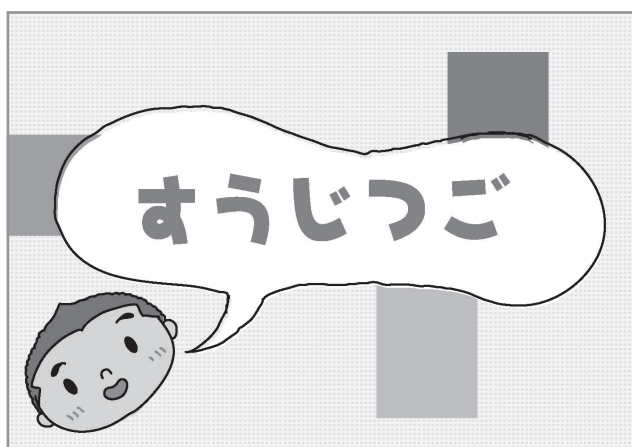


👉 副読本
P.35 内部ひばく

【話者】

数日後…
すうじつご

06



【話者】

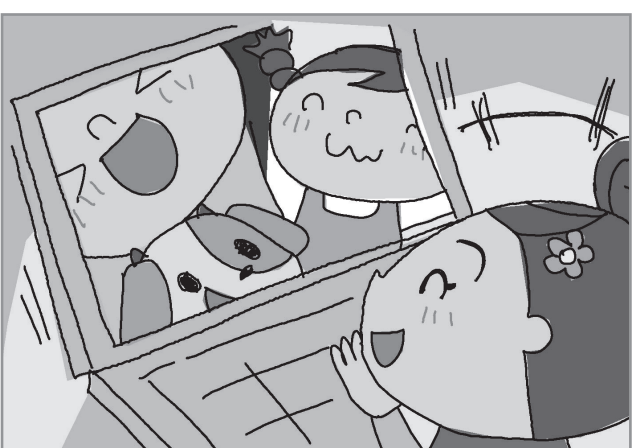
この日も、またミドリ君とルリちゃんは、

『放射線』について、調べたことを

インターネットのテレビ電話で話しました。

今日は、ミドリ君たちのような、子どもが

できることではないか話しているようです。



【ルリ】 あのね、一番心配いちばんしんぱいなことがあるの。

それはね、

「放射線ほうしやせんのことを

いつまで気きにしなければいけないの？」ってこと…。

【ミドリ】 調べてみたよ。

福島ふくしまに、広がひろってしまった『放射性物質ほうしやせいぶつしつ』は、

自然しぜんに減へっていくこともあるけど、すぐには減へっていかないらしいんだ。

【ルリ】 そうなんだ…。

【ミドリ】 でもね、『放射線ほうしやせん』を浴あびる量りょうを

減へらして、少すこしでも僕ぼくたちが

安心あんしんできるように、

今いま、大人おとなは

いろいろなことしているんだ！

04



副読本

P.39 ホウシャセイブツシツは、ずっと残ってるの？

【ミドリ】 『除染』って言ったよ。

テレビでもよく言ってるでしょ？

【ルリ】 『除染』ってどんなことをしてるの？

【ミドリ】 土や草や木、建物・道路の表面から

『放射性物質』を取り除いているんだ。

うちの学校は、だいぶ前に先生などの大人が
手伝って、いっぱいやってくれたんだよ。

【ルリ】 じゃあ、もうサッカーもできる？

【ミドリ】 もちろん！ 原発事故のすぐ後は、ずーっと外に
出られなかったけど、今は、思いっきり遊べるよ。



副読本

P.45 ホウシャセイブツシツが、自然になくなるまで
待たなければいけないの？

【ルリ】 じゃあ、もっと『除染』が進めば

安心して遊べる場所が

どんどん増えるってことね？

【ミドリ】 うん！ 大変だと思うけどね。

03



【ルリ】

そっかあ。

【ミドリ】

それにさ、こう思うんだ。

僕たちができることだって、いっぱいあるって。

放射線量がわかるガラスバッジ[®]は

調査や検査が必要なきには、ちゃんと身に着けよう！

そして、体の中の『放射性物質』を調べる検査は

めんどくさがらずにちゃんと受ける！

02



👉 副読本

P.27 ホウシャ線の体へのえいきょうは
どうやって調べるの？

P.28 「ガラスバッジ」ってなに？

【ルリ】 たしかに！

【ミドリ】 それにさ…、

僕とルリちゃんほくで放射線ほうしやせんについていっぱい調べたよね。
きっと、ルリちゃんのパパやママよりも、
もっと詳しくくわなったんじゃないかな。

【ルリ】 …そうかもしれない。

だって、テレビのニュースで言っていること、
少しすこわかるようになったし。

【ミドリ】 大人おとなだって、考えながらやっているって

お父さんとうも言っていた。僕たちも、今僕たちが
できることをちゃんとやんなきゃ！。

【ルリ】 そうね。私わたし、もっともっといっぱい

調べてみる！
そしてパパやママに教おしえてあげる。

【話者】 この日も、遅くまでテレビ電話でんわで

お話をはなししていたミドリ君たち。

01



(観客に) みんなも、一緒いっしょに考えてみませんか？

「ホウシヤ線」ってなんだろう!?

00

